

# Russell/Nomura 日本株インデックス パフォーマンス・レビュー

## 07年5月は大型株、グロース株を中心に上昇

Russell/Nomura Prime 指数(米ドル建て)は前月末より1.37%の上昇を見せ、大型株、グロース株が市場を牽引する結果となった。リビジョン・インデックスは引き続き低下し、前月の-1.35から-11.78となった。

- 【大型株、グロース株が有効】2007年5月のRussell/Nomura Prime 指数(米ドル建て)では、前月比1.37%の上昇となった。スタイル別では、大型株、グロース株が有効なスタイルであった。
- 【リビジョン・インデックスは-11.78】個別銘柄の業績修正動向を示すリビジョン・インデックスは前月の-1.35よりさらに低下し、-11.78となった。前月に引き続き上方修正の銘柄数が下方修正の銘柄数を下回った。
- 【海運業、銀行業のパフォーマンスが良好】Russell/Nomura Prime 指数における業種別では前月に続き、海運業が最も高い月次リターンを示した。また、それに次ぐ銀行業も、良好なパフォーマンスを示した。
- 【みずほフィナンシャルグループ(8411)など銀行株の寄与度が高い】Russell/Nomura Prime 指数構成銘柄で見た寄与度ランキングでは、みずほフィナンシャルグループ(8411)、三菱UFJフィナンシャル・グループ(8306)など銀行業の銘柄が上位を占めた。

### スタイル別月次ランキング(円建て・配当込み)

順位	200504	200505	200506	200507	200508	200509	200510	200511	200512	200601	200602	200603
1	小型 -2.77	コア 2.49	小型 4.18	小型 3.25	割安 6.42	割安 13.04	小型 5.71	成長 8.65	小型 10.19	割安 4.67	割安 -1.11	小型 5.51
2	コア -4.28	成長 1.87	市場 2.90	成長 2.25	コア 6.13	コア 12.99	割安 2.44	コア 7.48	成長 9.32	コア 4.42	コア -1.17	成長 4.82
3	市場 -4.31	割安 1.77	割安 2.76	市場 2.21	市場 5.67	市場 12.01	市場 2.09	市場 6.63	市場 7.40	市場 3.71	市場 -2.58	市場 4.73
4	成長 -4.45	市場 1.62	成長 2.70	コア 2.11	成長 5.60	成長 11.90	コア 1.08	小型 5.67	コア 6.35	成長 3.06	成長 -2.89	割安 4.33
5	割安 -4.50	小型 -0.18	コア 2.31	割安 1.88	小型 2.49	小型 7.73	成長 0.77	割安 5.00	割安 4.61	小型 2.86	小型 -6.87	コア 4.18

順位	200604	200605	200606	200607	200608	200609	200610	200611	200612	200701	200702	200703
1	コア 0.38	割安 -7.54	コア 1.55	コア 0.95	小型 4.77	成長 -0.85	コア 1.61	コア -0.50	コア 5.91	割安 3.47	割安 2.98	割安 -1.00
2	割安 0.17	市場 -7.90	成長 1.14	割安 -0.24	成長 4.11	市場 -0.97	成長 1.09	成長 -0.60	割安 5.46	小型 3.06	コア 1.99	小型 -1.41
3	市場 -0.70	成長 -7.94	市場 0.61	成長 -0.56	市場 4.07	割安 -1.08	市場 0.61	市場 -0.80	成長 5.03	コア 2.57	市場 1.78	市場 -1.60
4	成長 -1.20	コア -8.03	割安 0.53	市場 -0.91	コア 3.86	小型 -1.25	割安 0.56	割安 -0.88	市場 4.99	市場 2.39	小型 1.09	コア -1.94
5	小型 -2.07	小型 -9.24	小型 -1.44	小型 -5.44	割安 3.82	コア -1.32	小型 -1.49	小型 -1.69	小型 3.10	成長 1.22	成長 0.82	成長 -2.23

順位	200704	200705
1	成長 -0.13	コア 5.16
2	市場 -0.67	成長 4.06
3	コア -0.94	市場 3.25
4	小型 -0.97	割安 3.25
5	割安 -1.25	小型 -0.04

投資スタイルと対応指数
市場 Russell/Nomura Prime
コア Russell/Nomura Top Cap
割安 Russell/Nomura Large Cap Value
成長 Russell/Nomura Large Cap Growth
小型 Russell/Nomura Small Cap

(注) リターンは円建て・配当込みのものであり、年率換算されていない。

(出所) 野村証券金融経済研究所

2007年6月4日  
クオンツレポート

カテゴリー

インデックス・リサーチ

野村証券金融経済研究所  
金融工学研究センター

石毛 洋子

田村 浩道

03-3274-1079

arai-1ms4@jp.nomura.com

野村証券株式会社 金融経済研究所 〒100-8130 東京都千代田区大手町 2-2-2 アーバンネット大手町ビル

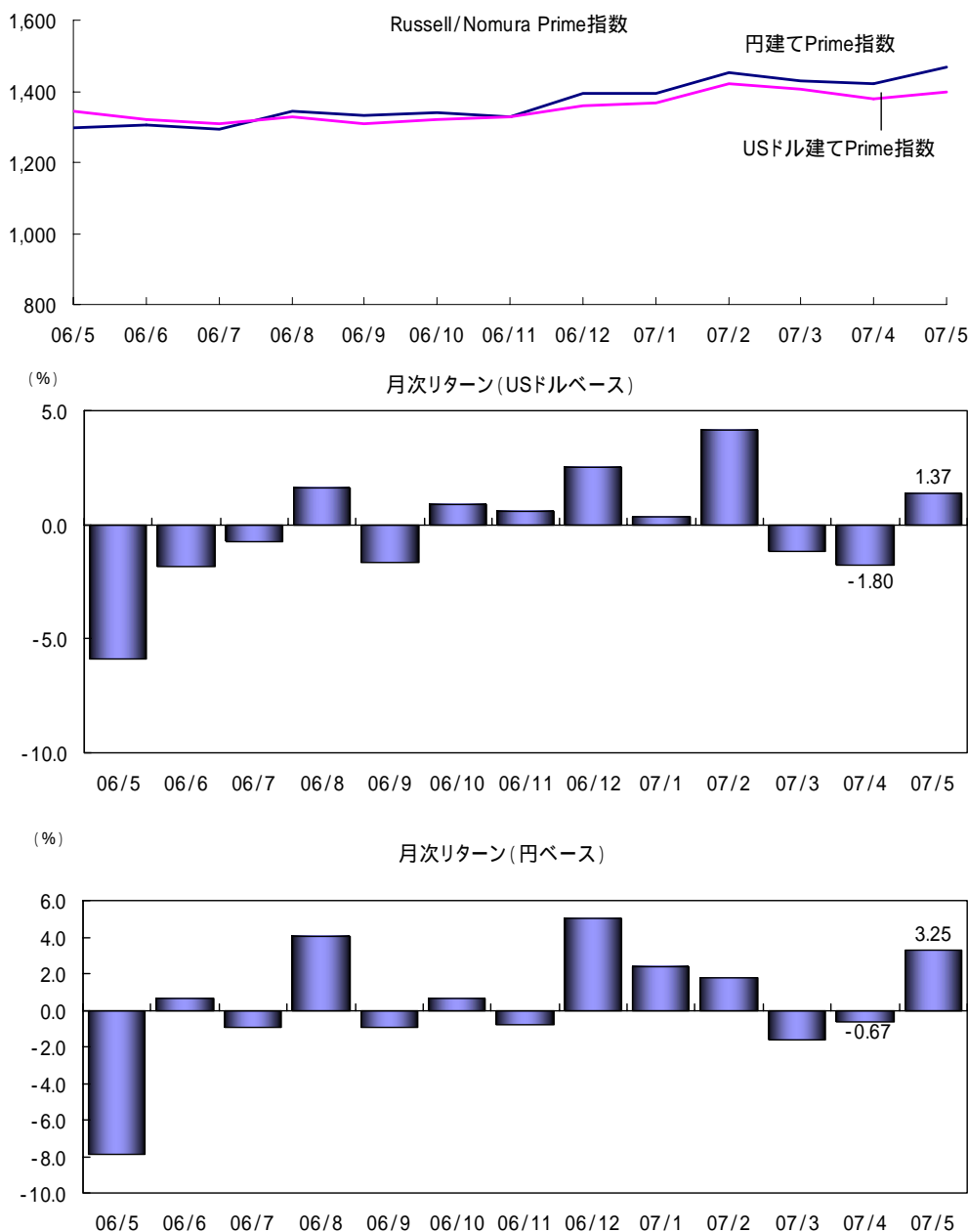
このレポートは、投資判断の参考となる情報の提供を唯一の目的としたもので、投資勧誘を目的として作成されたものではありません。このレポートには、野村証券において外国証券内容説明書を作成していない銘柄について記載がなされる場合があります。銘柄の選択、投資判断の最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。このレポートは、信頼できると考えられる情報に基づいて作成されていますが、野村証券は、その正確性および完全性に関して責任を負うものではありません。このレポートに記載された意見は、作成日における判断であり、予告なく変わる場合があります。野村証券およびその親会社である野村ホールディングスの役員は、このレポートに記載された証券について、買い持ちしている場合があります。野村証券およびその親会社である野村ホールディングスは、このレポートに記載された証券、それら証券に基づくオプション、先物その他の金融派生商品について、買い持ちまたは売り持ちのポジションを有している場合があります。また今後自己勘定で売買を行うことがあります。野村証券は、このレポートに掲載された会社に対して、引受等の投資銀行業務その他サービスを提供し、かつそれらのサービスの勧誘を行うことがあります。このレポートは、野村証券から直接提供するという方法のみ配布いたしております。提供されましたお客様限りでご使用ください。このレポートのいかなる部分も一切の権利は野村証券に帰属しており、電子的または機械的方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。

# 1. Russell/Nomura 日本株インデックスパフォーマンス概況

## 07年5月のPrime指数(米ドル建て)は、前月比1.37%の上昇

2007年5月は、日本株式市場の動きを示す Russell/Nomura Prime 指数(米ドル建て)が前月比 1.37%の上昇となった。5月末時点の為替レート(月末終値、出所：日本銀行)は、4月末時点の 119.41 円から 121.63 円となった。円建てベースでは、前月比 3.25%の上昇となっている(図表1)。

図表1 Russell/Nomura Prime 指数月次パフォーマンス



(注) リターンは配当込みのものであり、年率換算されていない。

(出所) 野村証券金融経済研究所

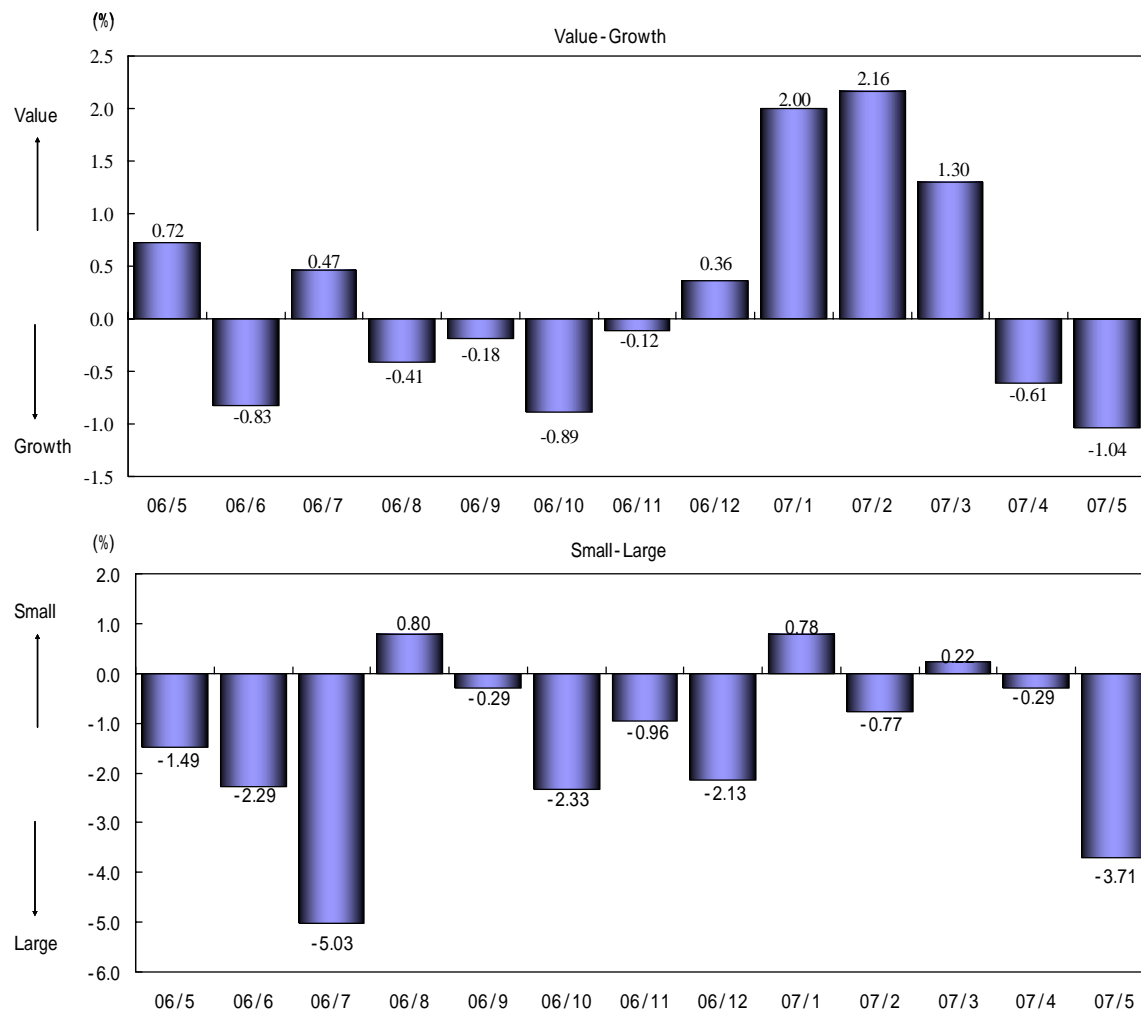
このレポートは、投資判断の参考となる情報の提供を唯一の目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。このレポートには、野村証券において外国証券内容説明書を作成していない銘柄について記載がなされる場合があります。銘柄の選択、投資判断の最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。このレポートは、信頼できると考えられる情報に基づいて作成されていますが、野村証券は、その正確性および完全性に関して責任を負うものではありません。このレポートに記載された意見は、作成日における判断であり、予告なく変わる場合があります。野村証券およびその親会社である野村ホールディングスは、このレポートに記載された証券、それら証券に基づくオプション、先物その他の金融派生商品について、買い持ちまたは売り持ちのポジションを有している場合があります。また今後自己勘定で売買を行うことがあります。野村証券は、このレポートに掲載された会社に対して、引受等の投資銀行業務その他サービスを提供し、かつそれらのサービスの勧誘を行うことがあります。このレポートは、野村証券から直接提供するという方法でのみ配布しております。提供されましたお客様限りでご使用ください。このレポートのいかなる部分も一切の権利は野村証券に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。

## 大型株、グロース株が 良好なパフォーマンス

図表 2 に、スタイル別のリターン・スプレッドを示している。また、図表 3 は、市場、コア（時価総額上位 50%以上）、割安（大型・バリュー株）、成長（大型・グロース株）、小型といった 5 つのスタイル区分による月次リターンのランキングを表している。なお、ここでのパフォーマンスの算出には、円建てベースの数値を採用している。

2007 年 5 月は、スタイル別で見ると、大型株、グロース株の上昇が、Prime 指数を上昇させる要因となった。バリュー・グロースの比較においては（図表 2）、グロース株の有効性が高まった傾向を示した。4 月にも、年初来継続的に有効なスタイルであったバリュー株よりも、グロース株のパフォーマンスが上回る傾向を示したが、5 月は、より一層その傾向が強くと表れている。バリュー株とグロース株では -1.04% のスプレッド・リターンとなっている。また、小型株と大型株のスプレッド・リターンは -3.71% と、大型株の有効性が確認できる。また、図表 3 からは、大型株でも、特にコア（時価総額上位 50%以上）に属する銘柄のパフォーマンスが良好であったことがわかる（図表 3）。

図表 2 スタイル別パフォーマンス



（注） Value-Growth は Value と Growth のリターンの差、Small-Large は Small と Large のリターンの差である。  
リターンは円建て・配当込みのものであり、年率換算されていない。

（出所）野村証券金融経済研究所

このレポートは、投資判断の参考となる情報の提供を唯一の目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。このレポートには、野村証券において外国証券内容説明書を作成していない銘柄について記載がなされる場合があります。銘柄の選択、投資判断の最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。このレポートは、信頼できると考えられる情報に基づいて作成されていますが、野村証券は、その正確性および完全性に関して責任を負うものではありません。このレポートに記載された意見は、作成日における判断であり、予告なく変わる場合があります。野村証券およびその親会社である野村ホールディングスは、このレポートに記載された証券、それら証券に基づくオプション、先物その他の金融派生商品について、買い持ちまたは売り持ちのポジションを有している場合があります。また今後自己勘定で売買を行うことがあります。野村証券は、このレポートに掲載された会社に対して、引受等の投資銀行業務その他サービスを提供し、かつそれらのサービスの勧誘を行うことがあります。このレポートは、野村証券から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。提供されましたお客様限りでご使用ください。このレポートのいかなる部分も一切の権利は野村証券に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。

図表3 スタイル別月次ランキング(円建て・配当込み)

順位	200504	200505	200506	200507	200508	200509	200510	200511	200512	200601	200602	200603	
1	小型 -2.77	コア 2.49	小型 4.18	小型 3.25	割安 6.42	割安 13.04	小型 5.71	成長 8.65	小型 10.19	割安 4.67	割安 -1.11	小型 5.51	
2	コア -4.28	成長 1.87	市場 2.90	成長 2.25	コア 6.13	コア 12.99	割安 2.44	コア 7.48	成長 9.32	コア 4.42	コア -1.17	成長 4.82	
3	市場 -4.31	割安 1.77	割安 2.76	市場 2.21	市場 5.67	市場 12.01	市場 2.09	市場 6.63	市場 7.40	市場 3.71	市場 -2.58	市場 4.73	
4	成長 -4.45	市場 1.62	成長 2.70	コア 2.11	成長 5.60	成長 11.90	コア 1.08	小型 5.67	コア 6.35	成長 3.06	成長 -2.89	割安 4.33	
5	割安 -4.50	小型 -0.18	コア 2.31	割安 1.88	小型 2.49	小型 7.73	成長 0.77	割安 5.00	割安 4.61	小型 2.86	小型 -6.87	コア 4.18	
順位	200604	200605	200606	200607	200608	200609	200610	200611	200612	200701	200702	200703	
1	コア 0.38	割安 -7.54	コア 1.55	コア 0.95	小型 4.77	成長 -0.85	コア 1.61	コア -0.50	コア 5.91	割安 3.47	割安 2.98	割安 -1.00	
2	割安 0.17	市場 -7.90	成長 1.14	割安 -0.24	成長 4.11	市場 -0.97	成長 1.09	成長 -0.60	割安 5.46	小型 3.06	コア 1.99	小型 -1.41	
3	市場 -0.70	成長 -7.94	市場 0.61	成長 -0.56	市場 4.07	割安 -1.08	市場 0.61	市場 -0.80	成長 5.03	コア 2.57	市場 1.78	市場 -1.60	
4	成長 -1.20	コア -8.03	割安 0.53	市場 -0.91	コア 3.86	小型 -1.25	割安 0.56	割安 -0.88	市場 4.99	市場 2.39	小型 1.09	コア -1.94	
5	小型 -2.07	小型 -9.24	小型 -1.44	小型 -5.44	割安 3.82	コア -1.32	小型 -1.49	小型 -1.69	小型 3.10	成長 1.22	成長 0.82	成長 -2.23	
順位	200704	200705	投資スタイルと対応指数										
1	成長 -0.13	コア 5.16	市場	Russell/Nomura Prime									
2	市場 -0.67	成長 4.06	コア	Russell/Nomura Top Cap									
3	コア -0.94	市場 3.25	割安	Russell/Nomura Large Cap Value									
4	小型 -0.97	割安 3.25	成長	Russell/Nomura Large Cap Growth									
5	割安 -1.25	小型 -0.04	小型	Russell/Nomura Small Cap									

(注) 単位は%。リターンは円建て・配当込みのものであり、年率換算されていない。

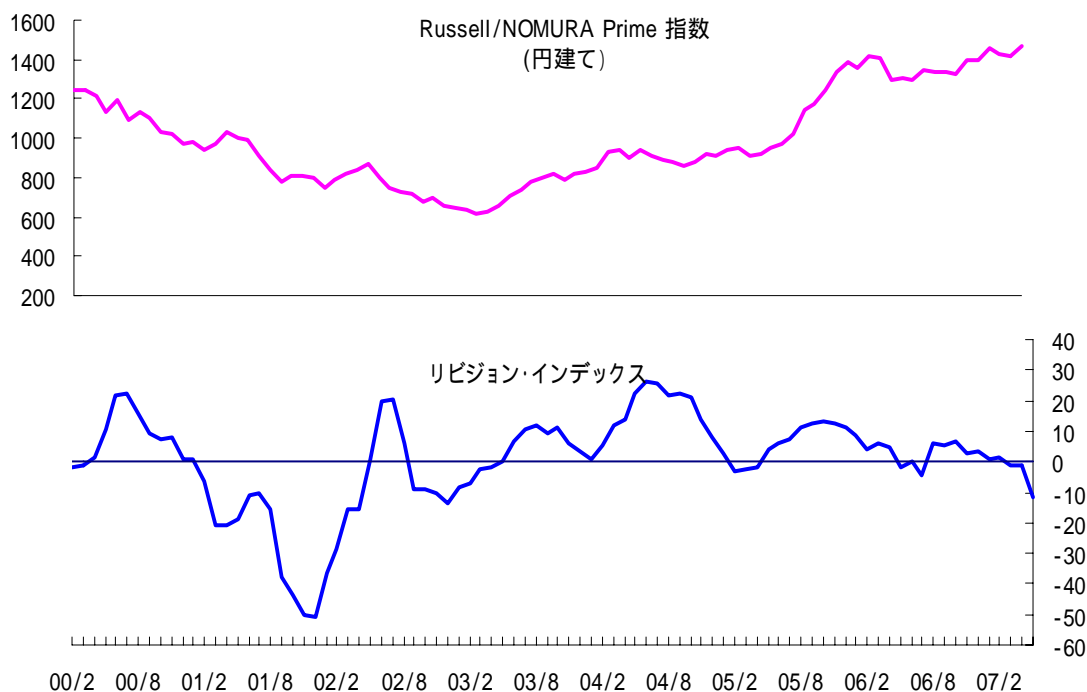
(出所) 野村証券金融経済研究所

このレポートは、投資判断の参考となる情報の提供を唯一の目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。このレポートには、野村証券において外国証券内容説明書を作成していない銘柄について記載がなされる場合があります。銘柄の選択、投資判断の最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。このレポートは、信頼できると考えられる情報に基づいて作成されていますが、野村証券は、その正確性および完全性に関して責任を負うものではありません。このレポートに記載された意見は、作成日における判断であり、予告なく変わる場合があります。野村証券およびその親会社である野村ホールディングスの役員は、このレポートに記載された証券について、買い持ちしている場合があります。野村証券およびその親会社である野村ホールディングスは、このレポートに記載された証券、それら証券に基づくオプション、先物その他の金融派生商品について、買い持ちまたは売り持ちのポジションを有している場合があります、また今後自己勘定で売買を行うことがあります。野村証券は、このレポートに掲載された会社に対して、引受等の投資銀行業務その他サービスを提供し、かつそれらのサービスの勧誘を行うことがあります。このレポートは、野村証券から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。提供されましたお客様限りでご使用ください。このレポートのいかなる部分も一切の権利は野村証券に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。

## リビジョン・インデックスは-11.78と、マイナス水準を示した

Russell/Nomura 日本株インデックスを構成する銘柄の業績修正動向を示すリビジョン・インデックスを見ると(図表4)、2007年5月は、前月の-1.35からさらに低下し、-11.78となった。上方修正銘柄数が565銘柄、下方修正銘柄数が746銘柄となった。前月と同様、上方修正銘柄数が下方修正銘柄数を下回る結果を示したが、10%台のマイナス水準となったのは2002年12月以来である。

図表4 リビジョン・インデックスとパフォーマンス



	リビジョン インデック ス	上方修正 銘柄数	下方修正 銘柄数
2007年05月	-11.78	565	746
2007年04月	-1.35	492	513

(注) リビジョン・インデックスとは、(上方修正銘柄数 - 下方修正銘柄数) / 有効銘柄数 × 100 で算出される業績の修正動向を示す指数である。2007年5月の有効銘柄数は1,536銘柄。業績予想は野村及び東洋経済が予想する連結・経常利益を用いている。ここでは、母集団を Russell/Nomura 日本株に含まれる全銘柄とし、月次の業績修正に基づいて算出している。

(出所) 野村証券金融経済研究所

このレポートは、投資判断の参考となる情報の提供を唯一の目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。このレポートには、野村証券において外国証券内容説明書を作成していない銘柄について記載がなされる場合があります。銘柄の選択、投資判断の最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。このレポートは、信頼できると考えられる情報に基づいて作成されていますが、野村証券は、その正確性および完全性に関して責任を負うものではありません。このレポートに記載された意見は、作成日における判断であり、予告なく変わる場合があります。野村証券およびその親会社である野村ホールディングスの役員は、このレポートに記載された証券について、買い持ちしている場合があります。野村証券およびその親会社である野村ホールディングスは、このレポートに記載された証券、それら証券に基づくオプション、先物その他の金融派生商品について、買い持ちまたは売り持ちのポジションを有している場合があります、また今後自己勘定で売買を行うことがあります。野村証券は、このレポートに掲載された会社に対して、引受等の投資銀行業務その他サービスを提供し、かつそれらのサービスの勧誘を行うことがあります。このレポートは、野村証券から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。提供されましたお客様限りでご使用ください。このレポートのいかなる部分も一切の権利は野村証券に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。

## 2. 業種別パフォーマンス・レビュー

前月と同様に海運業、  
次いで銀行業の月次リ  
ターンが大きい

2007年5月は、Prime 指数において、良好なパフォーマンスを見せた業種は前月と同様海運業であった。次いで、銀行業となっており、両業種とも、前月比の月次リターンでは10%台の上昇を示した。一方、パフォーマンスが悪化したのは、倉庫・運輸関連業、サービス業等であった(図表5)。

図表 5. Russell/Nomura 業種別パフォーマンス(上位・下位 10 業種)

指数	Prime	3.25	Large Value	3.25	Large Growth	4.06	Small	-0.04
上位業種	Prime		Large Value		Large Growth		Small	
	1 海運業	10.28	卸売業	11.89	銀行業	13.65	海運業	16.18
	2 銀行業	10.04	石油・石炭製品	10.89	その他製品	12.76	鉄鋼	8.15
	3 卸売業	9.49	その他金融業	10.49	金属製品	11.36	ゴム製品	7.18
	4 鉄鋼	8.68	海運業	10.20	海運業	10.08	証券・商品先物取引業	4.73
	5 石油・石炭製品	8.61	非鉄金属	9.65	鉄鋼	8.77	水産・農林業	3.94
	6 非鉄金属	7.25	鉄鋼	8.48	保険業	8.15	精密機器	2.94
	7 精密機器	6.53	銀行業	7.46	非鉄金属	7.46	不動産業	2.48
	8 保険業	5.69	保険業	5.64	精密機器	7.10	機械	2.23
	9 証券・商品先物取引業	5.35	証券・商品先物取引業	5.30	鉱業	5.94	輸送用機器	1.76
	10 その他製品	5.31	電気機器	4.80	証券・商品先物取引業	5.85	金属製品	1.70
下位業種	Prime		Large Value		Large Growth		Small	
	1 倉庫・運輸関連業	-2.85	建設業	-4.55	石油・石炭製品	-4.33	石油・石炭製品	-8.66
	2 サービス業	-2.79	金属製品	-4.42	陸運業	-3.45	電気・ガス業	-6.10
	3 電気・ガス業	-2.76	サービス業	-3.56	繊維製品	-3.30	その他製品	-5.36
	4 陸運業	-2.68	情報・通信業	-2.95	ガラス・土石製品	-2.39	倉庫・運輸関連業	-5.12
	5 繊維製品	-0.85	電気・ガス業	-2.88	サービス業	-2.06	医薬品	-3.67
	6 建設業	-0.31	その他製品	-2.18	電気・ガス業	-0.20	陸運業	-3.56
	7 情報・通信業	-0.09	ゴム製品	-2.08	ゴム製品	-0.08	食料品	-3.04
	8 医薬品	-0.09	医薬品	-1.61	医薬品	0.66	サービス業	-2.92
	9 ガラス・土石製品	-0.04	食料品	-0.35	輸送用機器	1.18	化学	-2.78
	10 ゴム製品	0.11	化学	-0.34	電気機器	1.41	保険業	-2.07

(注) 単位は(%)。リターンは円建て・配当込みのものであり、年率換算されていない。

(出所) 野村証券金融経済研究所

このレポートは、投資判断の参考となる情報の提供を唯一の目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。このレポートには、野村証券において外国証券内容説明書を作成していない銘柄について記載がなされる場合があります。銘柄の選択、投資判断の最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。このレポートは、信頼できると考えられる情報に基づいて作成されていますが、野村証券は、その正確性および完全性に関して責任を負うものではありません。このレポートに記載された意見は、作成日における判断であり、予告なく変わる場合があります。野村証券およびその親会社である野村ホールディングスの役員は、このレポートに記載された証券について、買い持ちしている場合があります。野村証券およびその親会社である野村ホールディングスは、このレポートに記載された証券、それら証券に基づくオプション、先物その他の金融派生商品について、買い持ちまたは売り持ちのポジションを有している場合があります。また今後自己勘定で売買を行うことがあります。野村証券は、このレポートに掲載された会社に対して、引受等の投資銀行業務その他サービスを提供し、かつそれらのサービスの勧誘を行うことがあります。このレポートは、野村証券から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。提供されましたお客様限りでご使用ください。このレポートのいかなる部分も一切の権利は野村証券に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。

### 3. 個別銘柄パフォーマンス・レビュー

#### 寄与度上位は、銀行業の銘柄が占める

ここでは、個別銘柄の各指数へのパフォーマンス寄与度をランキングし、その結果に基づき、上位・下位5社を示している(図表6)。なお、月次リターンは、円建てベースで示した。

Russell/Nomura Prime 指数を構成する銘柄のうち、みずほフィナンシャルグループ(8411)の寄与度が高かった。同銘柄の寄与度は0.376%、前月比月次リターンは18.92%となった。次いで、寄与度が高くなっているのは、前々月よりマイナス寄与度の高かった三菱UFJフィナンシャル・グループ(8306)である。同銘柄の前月比月次リターンは12.0%、寄与度では0.359%となった。一方、マイナスの寄与度が大きかったのは、中部電力(9502)などとなっている。

図表6 個別銘柄パフォーマンス寄与度上位・下位5社

Prime:3.25%				Top:5.16%			
		寄与度(%)	リターン(%)			寄与度(%)	リターン(%)
上位銘柄	1	8411 みずほフィナンシャルグループ	0.376	18.92	8411 みずほフィナンシャルグループ	0.708	18.92
	2	8306 三菱UFJフィナンシャル・グループ	0.359	12.00	8306 三菱UFJフィナンシャル・グループ	0.677	12.00
	3	8316 三井住友フィナンシャルグループ	0.224	12.38	8316 三井住友フィナンシャルグループ	0.422	12.38
	4	6758 ソニー	0.172	9.19	6758 ソニー	0.324	9.19
	5	8058 三菱商事	0.148	15.59	8058 三菱商事	0.280	15.59
下位銘柄	1	9502 中部電力	-0.056	-10.13	9502 中部電力	-0.105	-10.13
	2	9503 関西電力	-0.053	-8.93	9503 関西電力	-0.101	-8.93
	3	9432 日本電信電話	-0.050	-3.86	9432 日本電信電話	-0.094	-3.86
	4	4568 第一三共	-0.037	-6.70	4568 第一三共	-0.069	-6.70
	5	4519 中外製薬	-0.033	-18.79	9020 東日本旅客鉄道	-0.053	-3.39

Large-V:3.25%				Large-G:4.06%				Small:-0.04%			
		寄与度(%)	リターン(%)			寄与度(%)	リターン(%)			寄与度(%)	リターン(%)
上位銘柄	1	6758 ソニー	0.403	9.19	8411 みずほフィナンシャルグループ	0.729	18.92	5541 大平洋金属	0.111	18.70	
	2	8058 三菱商事	0.347	15.59	8306 三菱UFJフィナンシャル・グループ	0.514	12.00	6103 オークマ	0.082	20.78	
	3	6752 松下電器産業	0.336	10.54	8316 三井住友フィナンシャルグループ	0.403	12.38	5101 横浜ゴム	0.065	18.01	
	4	8306 三菱UFJフィナンシャル・グループ	0.291	12.00	7974 任天堂	0.314	13.01	2784 アルフレックス ホールディングス	0.062	17.66	
	5	8031 三井物産	0.242	11.37	7751 キヤノン	0.293	6.07	7282 豊田合成	0.060	16.97	
下位銘柄	1	9502 中部電力	-0.130	-10.13	4519 中外製薬	-0.073	-18.79	4540 ツムラ	-0.039	-17.69	
	2	9503 関西電力	-0.125	-8.93	9020 東日本旅客鉄道	-0.061	-3.39	4044 セントラル硝子	-0.033	-15.53	
	3	9432 日本電信電話	-0.117	-3.86	9022 東海旅客鉄道	-0.058	-5.30	7242 カヤバ工業	-0.031	-23.97	
	4	4568 第一三共	-0.057	-6.70	6503 三菱電機	-0.049	-4.63	7873 アーク	-0.030	-24.93	
	5	7912 大日本印刷	-0.040	-6.59	6460 セガサミーホールディングス	-0.042	-17.65	8697 大阪証券取引所	-0.029	-13.20	

(注) リターンは円建て・配当込みのものである。

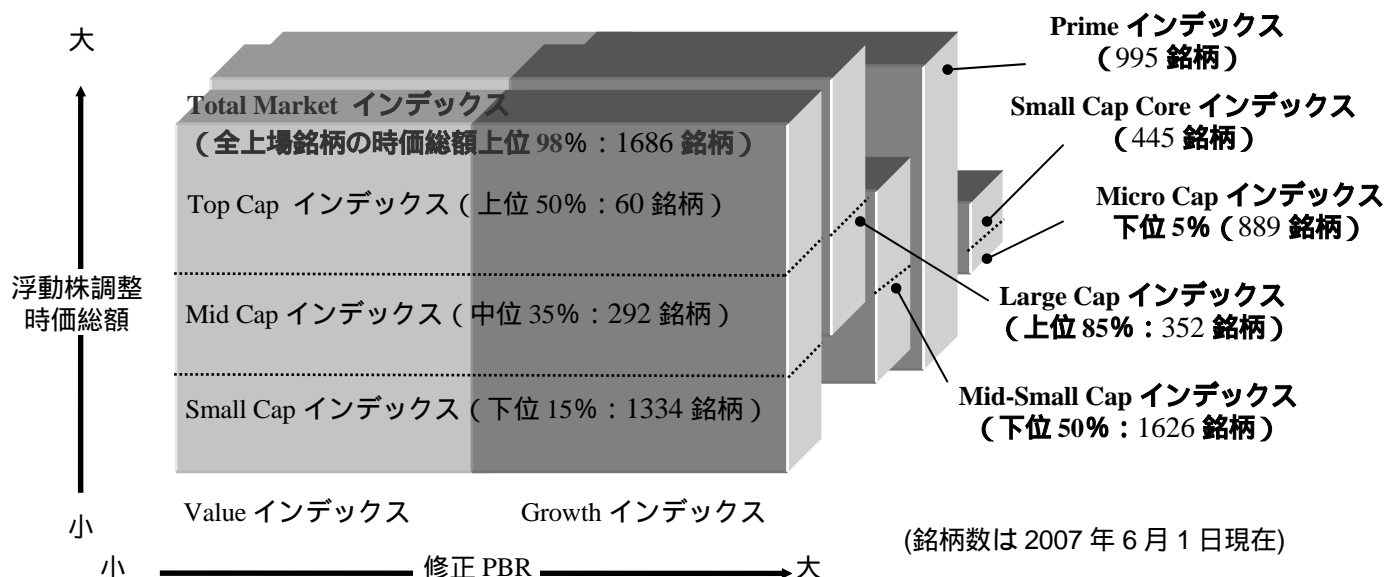
(出所) 野村証券金融経済研究所

このレポートは、投資判断の参考となる情報の提供を唯一の目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。このレポートには、野村証券において外国証券内容説明書を作成していない銘柄について記載がなされる場合があります。銘柄の選択、投資判断の最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。このレポートは、信頼できると考えられる情報に基づいて作成されていますが、野村証券は、その正確性および完全性に関して責任を負うものではありません。このレポートに記載された意見は、作成日における判断であり、予告なく変わる場合があります。野村証券およびその親会社である野村ホールディングスの役員は、このレポートに記載された証券について、買い持ちしている場合があります。野村証券およびその親会社である野村ホールディングスは、このレポートに記載された証券、それら証券に基づくオプション、先物その他の金融派生商品について、買い持ちまたは売り持ちのポジションを有している場合があります。また今後自己勘定で売買を行うことがあります。野村証券は、このレポートに掲載された会社に対して、引受等の投資銀行業務その他サービスを提供し、かつそれらのサービスの勧誘を行うことがあります。このレポートは、野村証券から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。提供されましたお客様限りでご使用ください。このレポートのいかなる部分も一切の権利は野村証券に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。

## Q&A Russell/Nomura 日本株インデックスについて

Q: Russell/Nomura 日本株インデックスって何ですか？

A: Russell/Nomura 日本株インデックスは米国、フランクラッセルカンパニーと野村証券金融経済研究所が共同開発した日本株式投資スタイルベンチマークです。



この他に 33 業種別インデックス (Total Market、規模別、Value、Growth、Prime) も用意されており、なお、規模別インデックスの分類指標は、安定持ち株控除後の時価総額です。Value / Growth インデックスの分類指標は、自己資本の含みを修正した修正 PBR です。

Q: Russell/Nomura 日本株インデックスのルールブックはどこにありますか？

A: 2006 年度版は、  
[http://qr.nomura.co.jp/jp/frcnri/docs/RN\\_rule2006.pdf](http://qr.nomura.co.jp/jp/frcnri/docs/RN_rule2006.pdf)  
 をご覧ください。

Q: Russell/Nomura 日本株インデックスのデータを見たいのですが、どこで公表していますか？

A: 以下の情報端末でご覧いただけます。

Bloomberg	: RNJI
時事通信	: SQ21、SQ22、SQ23、SQ24
QUICK	: NRIJ500 ~ 504, 510 ~ 517
REUTERS	: FRCNRI01、FRCNRI02、FRCNRI03、FRCNRI04
INTERNET	: <a href="http://qr.nomura.co.jp/jp/frcnri/index.html">http://qr.nomura.co.jp/jp/frcnri/index.html</a>

なお、<http://qr.nomura.co.jp/jp/frcnri/index.html> からは、最新のインデックスリターン、構成銘柄、構成銘柄の変更などがご覧いただけます。

このレポートは、投資判断の参考となる情報の提供を唯一の目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。このレポートには、野村証券において外国証券内容説明書を作成していない銘柄について記載がなされる場合があります。銘柄の選択、投資判断の最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。このレポートは、信頼できると考えられる情報に基づいて作成されていますが、野村証券は、その正確性および完全性に関して責任を負うものではありません。このレポートに記載された意見は、作成日における判断であり、予告なく変わる場合があります。野村証券およびその親会社である野村ホールディングスの役員は、このレポートに記載された証券について、買い持ちしている場合があります。野村証券およびその親会社である野村ホールディングスは、このレポートに記載された証券、それら証券に基づくオプション、先物その他の金融派生商品について、買い持ちまたは売り持ちのポジションを有している場合があります、また今後自己勘定で売買を行うことがあります。野村証券は、このレポートに掲載された会社に対して、引受等の投資銀行業務その他サービスを提供し、かつそれらのサービスの勧誘を行うことがあります。このレポートは、野村証券から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。提供されましたお客様限りでご使用ください。このレポートのいかなる部分も一切の権利は野村証券に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送を行わないようお願いいたします。

Q: Russell/Nomura 日本株インデックスのデータが欲しいのですが？

A: インデックスリターン、インデックス個別銘柄時価総額ウエイト、個別銘柄情報については、  
<http://qr.nomura.co.jp/jp/frcnri/index.html> からダウンロードできます。QUICK、REUTERS、Bloomberg  
においても一部に限られますが、データを取得できます。それ以外に関しましては、下記の連絡先  
にお問い合わせください。

Q: Russell/Nomura 日本株インデックスについて英語の資料が欲しいのですが？

A: <http://qr.nomura.co.jp/en/frcnri/index.html> をご覧ください。

上記以外の Russell/Nomura 日本株インデックスに関するお問い合わせ先

中嶋 啓浩・徳野 明洋・平野 由美子：idx\_mgr@frc.nomura.co.jp  
電 話：03(3274)0924

このレポートは、投資判断の参考となる情報の提供を唯一の目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。このレポートには、野村證券において外国証券内容説明書を作成していない銘柄について記載がなされる場合があります。銘柄の選択、投資判断の最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。このレポートは、信頼できると考えられる情報に基づいて作成されていますが、野村證券は、その正確性および完全性に関して責任を負うものではありません。このレポートに記載された意見は、作成日における判断であり、予告なく変わる場合があります。野村證券およびその親会社である野村ホールディングスの役員は、このレポートに記載された証券について、買い持ちしている場合があります。野村證券およびその親会社である野村ホールディングスは、このレポートに記載された証券、それら証券に基づくオプション、先物その他の金融派生商品について、買い持ちまたは売り持ちのポジションを有している場合があります。また今後自己勘定で売買を行うことがあります。野村證券は、このレポートに掲載された会社に対して、引受等の投資銀行業務その他サービスを提供し、かつそれらのサービスの勧誘を行うことがあります。このレポートは、野村證券から直接提供するという方法でのみ配布しております。提供されましたお客様限りでご使用ください。このレポートのいかなる部分も一切の権利は野村證券に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします